

四日市版コミュニティスクール報告書（令和2年度総括）

四日市市立常磐中学校

校長 三谷 耕介

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点から意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進します。
- ② 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させて改善に努めることで、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- ③ 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々の活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。
- ④ 教育を取り巻く社会情勢は、大きく変化しています。新たな教育課題について、学校外からの視点も参考にし、課題解決に向けて取り組みます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

今年度より発足した本校の運営協議会は、4回の会議を持ちました。昨年度までの地域との協働活動を増やす計画でしたが、感染症予防のため、予定通りとはなりませんでした。その状況下の中、運営協議会や地域の方に協力していただきながら以下にあげる活動を行うことができました。

(1) 教育活動の実践事例

《吉田山農園作業》

学校に隣接する吉田山農園で、毎年1年生が種を撒き、除草、収穫を行っています。家庭生活では体験することのない、種まきから収穫までを行う体験学習は、自然に触れ合う機会が少なくなった子どもたちにとって大変有意義な活動であります。活動中に子どもたちが見せる生き生きとした姿は、体験活動・集団活動の重要性を再確認できる場となっています。



9月より実施

《福祉体験学習》

今年度の1年生の福祉体験学習では、障がい者福祉についてクラスで学習を行うとともに、福祉についての理解を深めるため、常磐地区社



会福祉協議会の協力を得て、視覚障がいのある方に来ていただき、生活をする中で感じたことや経験をお話していただきました。また、視覚障がいのある方とともにサウンドテーブルテニスを体験させていただき、交流をしました。生活の質を高め自己実現を図って充実した生活を送っている障がいの姿を知る中で、福祉の重要性を学ぶことができました。

11月13日、16日に実施

《ザ・プロフェッショナル（職業講話）》

毎年PTAが講師の選定・依頼・受付接待などを行っています。保護者のネットワークで、地域で活躍する保育士や技芸サービス等多彩な講師を毎年選んでもらっています。生徒たちは目を輝かせて話を聞いていました。

10月8日に実施

《職場体験学習》

2年生は進路学習の一環の職場体験を実施できませんでした。その代替えに地域でお店を開いている方に経験を交えて仕事をする上で大切なことや心がけなど、ビデオ撮りさせていただき職業講話として実施しました。働くことの意義や心がけなどを学ぶとともに、マナーなどを教えて頂き、生徒にとって有意義なものとなりました。体験学習としては、地元の伝統工芸である日永うちわの制作をしました。地域の方々の協力が多く得られて生徒にとって有意義な学習をすることができました。

8月31日・10月13日実施

《吉田山環境整備作業》

毎年PTAを中心に年間3回土曜活動として実施しています。



毎回多くの生徒と保護者が参加し、整備作業後にPTAからふるまっていた季節にあったおやつを生徒は楽しみにしています。今年度は人数・時間ともに制限をかけ9月5日に実施することができました。保護者と生徒と教職員が共に学校の整備を行う行事を大切にしていきたいと思います。

9月5日に実施（年間3回実施予定）

《竹馬づくりボランティア》

常磐地区社会福祉協議会文化教養部が開催している伝承文化（昔遊び）交流会に使用する『竹馬づくり』に有志の生徒がボランティア参加しました。最初は、作り方がわからない様子がありましたが、説明書を見て、協議会の方や友人に教えてもらいながら完成させることができました。出来上がった竹馬は、伝承文化



交流会で活躍したそうです。

10月24日実施

《凧づくり・凧あげのボランティア》

常磐地区社会福祉協議会の家族ふれあい事業の凧づくり・凧あげのボランティアに参加しました。たくさんの常磐地区の御家族とともに27名の生徒が参加し、各々が絵を描いた個性豊かな凧を作り大空にあげることができました。

12

月13日に実施



本校では、普段の生徒の活動を見ていただけるように運営協議会の開催は、生徒の活動している時間に行うようにしています。今後も、学校運営協議会が参画していくことで、より地域とのつながりが強くなり、子どもを地域で育てる仕組みが強化されると考えています。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

本年度よりコミュニティスクール（運営協議会）が発足しました。地域の方と生徒との繋がりが深まる取組を計画していただくことができました。その反面、感染症の拡大により前年度まで、参加させていただいていた防災訓練等の催しに参加することができず残念なこともありました。その中で、委員の方を中心とした働きかけのおかげで、新たな取組にも参加させていただき、感謝しております。運営協議会を置くことにより、豊富な知識や経験を持つ地域で活躍されている方々などに本校の教育活動や生徒の様子を知っていただくことで、様々な意見や支援をいただくことができました。また、私たちも多様な視点で学校を見ることで、地域の方の願いや期待を知ることができました。学校内での取組としては、福祉委員会の活動として、地域行事への参加を募り、生徒への意識付けとしました。参加することで自己有用感を得て、前向きに参加する生徒が増えました。



3 今後に向けて

今後の活動での課題として、以下の三つを考えています。一つ目の課題は、まだまだ地域行事に積極的に参加する生徒が少ないことです。今後、委員会活動を中心に参加を増やしていけるよう工夫をしていきます。二つ目の課題は、職員の中にコミュニティスクール（運営協議会）のことが浸透していないことです。今年は1年目ということもあり、管理職が教員とのパイプ役を務めました。今後はコミュニティスクールの取組が職員の中に定着するように取組ごとに担当職員を参画させていきたいと考えています。多くの職員が地域行事を知り、活動の意義を再確認できることで、生徒の参加も増えてくると考えています。三つ目の課題は、学校公開日に参観していただく保護者・地域の方々が限られていることです。事前に案内を配付するだけでなくHP等を通じて再度案内したり、昨年の取組の様子を伝えたりするなど、参観していただける方を増やす方法を模索していきたいと考えています。

令和2年度四日市版コミュニティスクール活動報告

常磐中学校

委員長 清水 啓一

校長 三谷 耕介

月	協議会の開催	活動内容
4		
5		
6	第1回運営協議会(8日)	授業参観 委嘱式 委員長・副委員長の選出 学校ビジョンの説明 生徒の様子等意見交換 重点課題について 今後のCSの活動
7		
8		キャリア学習活動2年(31日) 社会人としてのマナーや職業観について学ぶ
9	第2回運営協議会(4日)	授業参観 生徒の様子等意見交換 中体連の結果・様子 学習状況について 吉田山環境整備作業(5日) 体育祭参観(2日)
10		職業ガイダンス『ザ・プロフェッショナル1年』(8日) キャリア教育 日永うちわづくり2年(13日) 竹馬づくりボランティア(24日) 文化祭参観(30日)
11	第3回運営協議会(12日)	授業参観 生徒の様子等意見交換 今年度の行事の様子 新人大会の結果・様子 CS活動の様子
12		凧あげ・凧づくりボランティア(13日)
1		
2	第4回運営協議会(15日)	授業参観 生徒の様子等意見交換 CS活動の様子 学校自己評価について 学校関係者評価について 来年度に向けて リーフレット完成
3		